



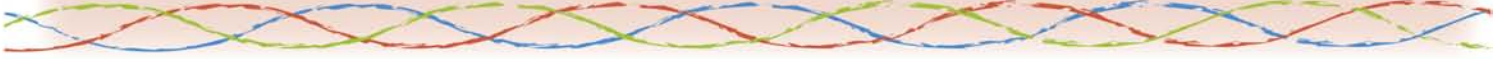
# ぬくもり

2008

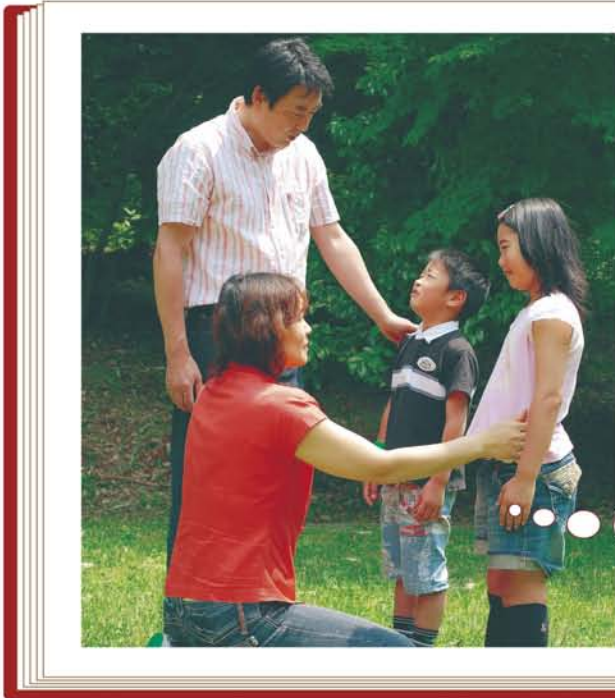
6月号

No. 37

[平成20年6月15日発行]



「心豊かな活力とうるおいのある住みよいまち・可児」を!



## 家族のきずな

心・の・ほ・ぐ・れ

お父さん、お母さんはね  
あなたがいてくれるから…。  
あなたが、あなただからこそ、  
信じているのよ…。



平成19年度小6年生人権標語から  
(現中1年生)

ぬくもりの差し出すその手は救いの手  
(今渡北小 山岡亮介)

やさしい手、そっとさし出すその勇氣  
(東明小 柘植由理奈)

すべての人間は、  
生まれながらにして自由—  
国連「世界人権宣言」60周年

今年のホットメモリー

人の世に熱あれ、人間に光あれ  
「水平社宣言」85年経過年

● 目次 ●

- 平成20年度の活動と19年度報告のあらまし ..... 2
- 〈シリーズ特集：(邪まな心の追放を)〉調査報告①—大阪府の「こころの再生」運動について ..... 3
- コーナー ..... 4
  - 壁の箴言(あなたは知っていますか?)—ウィンブルドン・センターコートの壁
  - 投稿だより(心田への薫風)—人権の風(ア—ラ局長:竜橋)・現在の人権考(顧問:橋本)
  - 心のビタミン ● 作品募集(ぬくもり標語と300字小説) 他

# 平成20年度の活動と19年度報告のあらまし

**目標** 啓発人口 4,000名/年

(本センターの活動に係り合った人数)

**重点** 家族のきずなを大切に!  
(家庭人権教育)

～きずなは苦楽の分かち合い～

**理念** 人は差異・多様ゆえに認め、学び合う人間主義で!



## 主なご案内

**めくもり懇話会(フォーラム) 参加者募集**

家族は、いろいろ——あなたの家族は?  
「今一度、家族について考えよう」

- 日 時: 8月22日(金)13時30分～
- 場 所: アーラ(映像シアター)にて
- 募集定員: 当センター申し込み先着80名  
(団体申し込みは、代表者で。)
- 電 話: 63-7990 ●無 料
- 募集期間: 7月10日～8月8日

～お母さん、お父さん、おじいさん、おばあさん、子ども達等、みんなで考えよう!～

20年前の感動をもとに  
ビデオ  
松山善三監督  
「母」を  
試写します!

**めくもり講演会予告**

テレビCMでおなじみの、  
浪速のおばちゃん **辻ト子氏**来る!

元「みかん畑の主婦」が今や「浪速のCM女王・50本」  
「絶望を笑いとちよっぴりの涙で」

- 日 時: 12月7日(日)13時30分～

※参加者募集は、広報かに9月1日号・めくもり(10月号)でお知らせ。

- 本センター役員紹介**
- 日比野雅子(広見)
  - 山口 征雄(平牧)
  - 斎 清喜(平牧)
  - 青山 澄子(下恵土)
  - 大崎 豪(帷子)
  - 玉置 武司(帷子)

**「願ひ」**  
本センター会長 日比野雅子

「見直そう たった一つの自分の命」昨年度の人権啓発標語の最優秀賞、帷子小六年生の加納大雅さんの作品です。自己の命を大切にすることは他者の命も大切にできるのです。

命といえは育むものは家庭です。私の忘れられない一冊を紹介します。みなみらんぼう著「みんなて家族の話をしよう」リヨン社。その中の第七章は、今も残っている祖母の手の感触とありました。私も祖母の立場にある者です。八人の孫たちの心の中にどのような思いが残っているのでしょうか。次の時代を生き延びてゆく孫たちの力に何かが残れば良いと祈りながら、人権啓発センターの活動を推進したいと願っております。

# シリーズ特集 よこし ～邪まな心の追放を～

## 主張

毎日のように「人殺し」が起こる、すさんだ社会。黙って見ているわけにはいかない！一刻も早く邪悪の命に一矢を投じなければならない！

善き心根を壊すものは、なにか？その風潮は、意外とあなたか、私かもしれない！悪しきことへの傍観者であってはいけない！「善きことをやらないのは、悪いことと同じ」ということを心して考えてみたい。

第1回は、平成18年度からスタートした大阪府の府民運動を取り上げました。

## 〈調査報告〉①大阪府の「こころの再生」運動について

～大阪がかわる・日本が変わる～

(一部削除・再編有)

### なぜ、いま「こころの再生」か

いま、子どもをめぐる痛ましい事件。また、大人によるルールやマナー違反などのモラルの低さ。

このような時代だからこそ、大人も子どもも今一度、「**生命を大切に**する」、「**思いやる**」、「**感謝する**」、「**努力する**」、「**ルールやマナーを守る**」など、忘れてはならない大切なこと（こころ）を見つめなおし、毎日の暮らしの中でできることから始めてみませんか。

「こころの再生」は一人ひとりの身近な取り組みからはじまる運動です。

**難しいことはありません。**

**できることから始めてみませんか**

### 「こころの再生」府民運動7つの取組み

1. 「あかんもんはあかん」と、はっきりと叱ろう
2. 「ええもんはええ」と、はっきりとほめよう
3. 「ユーモア」を大切にしよう
4. 「あいさつ」をもっと大切にしよう
5. 「おかげさんで」を大切にしよう
6. 子どもの話をじっくり聞こう
7. 地域にどんどん出て行こう

“愛”言葉は「ほめる、笑う、しかる。」

### 大阪府では…

- 11月を「こころの再生」月間
- 毎月第3土曜日は「子どもファーストデイ」
- 「こころの再生」府民運動ホームページ
- 「こころの再生」百人衆
- 「こころのサポーター」募集中
- 「こころの再生」府民運動“愛称”決定
- 感動体験（心に残ったできごと）募集

### 学校・家庭・地域・職域では…

- 「こころの再生」を考える有識者懇話会提言を高校生に配布
- 小・中学校においてシンボル植樹（どんぐりの苗木）を実施
- 府立学校における清掃活動など「こころの再生」の取組みを展開
- 芸術やスポーツの本物と触れ合う感動体験を生徒に提供
- 子どもの未来ハートフル・プロジェクトを実施

### 企業では…

- 企業タイアップの実施  
例えば…
- 企業CMや新聞広告での応援メッセージ
- 「子どもファーストデイ」への協賛（行楽施設や飲食店での割り引きクーポン）
- 企業タイアップイベントの実施
- 電車内マナーアップ向上アナウンスや駅や電車内でのポスター掲示

## 〈考察〉善き心根を醸成するには！

- 継続運動でなければ、善き心は、資質となりにくい。
- 1人でも多くの人が係われる、対話を考える。
- より身近なやさしいことからできるようにする。



## 連帯の輪

～ところで皆さん～

可児には市民運動「エデュース9」があります！

来年で7周年です

「可児の未来を拓く教育プラン」  
幼児から高校生まで継続的に育むものです。

本センターは、  
ずっとサポートしていきます！

さらにさらに！

エデュースナイン  
**Educe 9**

引き出す・伸ばす・鍛える

あなたは、子どもたちの明日のために何をやってもらえますか

可児の子どもたちの幸福のため、  
あなたの運動として下さい！



# 心のビタミン

新刊購入図書から

## 父親の品格

川北義則

ダイヤモンド社

- ・親と子どもは、愛情と信頼でつながる上下関係だ！
- ・大人と子どもの間には越えられない壁があることを自覚させることだ！

## マザーテレサ語る

マザーテレサ

早川書房

- ・分かち合えない愛など何の意味もありません。見返りを期待したらもう愛でなくなります。
- ・真実の愛とは、条件をつけたり期待することなく愛することなのです。

人権啓発図書貸出し中

## ぬくもり人権啓発

### 「標語と300字小説」を募集!

- テーマ：人としてのぬくもりを感じられる文面とことば（小説は会話をいれること）
- 応募資格：市内在住の人（小学生）（中学生・一般）
- 応募方法：はがきの表に住所・氏名・電話、裏に作品（小説1点、標語2点まで）
- 応募期間：8月15日～9月15日（消印有効）
- 入選作品数：標語約30点・小説約4点
- 入選発表：本人通知（小学生は、学校から）
- 作品展示：人権週間（12月4日～10日）市役所ロビー等展示。また機関紙「ぬくもり」等で順次掲載
- \*入選者には、表彰または記念品を贈呈（小学生は学校から）
- あて先：〒509-0203 下恵土5166-1 可児市人権啓発センター宛
- 問合せ先：同センター ☎(63) 7990



心の壁 じんげん  
「あなたは、知っていますか？」

## 気高さは

もし勝利と大敗に遭遇したらその2つを同じく受け止めたまえ

・英国ウィンブルドン・センターコート  
の入り口の壁。  
・テニスの聖地、1年かけて芝生を整備、この決勝戦のためのセンターコート。  
・ここで戦う者のみが通る入り口の壁に記されている言葉。  
「もし、あなたが勝ったとしても敗者を讃え尊敬できますか」また「もし、あなたが負けたとしても勝者を讃え尊敬できますか」「もしそれが出来なければ、ここで戦う資格はありません」(要約)「これこそ人間の尊厳の品格であり、究極の良識であろう。相手の気持ちをどこまで考えられるかだ。気高さはどこに物質的豊かさはない。(編者)」

## 投稿日より

# 心田への薫風

## 人権の風 II 文化芸術の力

文化創造センター 事務局長 籠橋義朗

「人権」というと何やらいかめしく堅苦しく聞こえる。人間が人間として生まれながらに持っている権利(広辞苑から)とすれば、すべてのことに関わってくる。今、私たちが生活していくうえで自由な行動と考え方、だから制限されないということ、が基本だと思っ。もつと平たく言えば、人によいな思いや迷惑をかけない範囲で自由に行動したり考えたりできるということではないか。その根っこには、人間に対する思いやりや感動できる心、美しいものを美しいと感じる心がどうしても必要であらう。

私たちアーラの仕事はそのような心と心のつながりを豊かにするお手伝いだ。そう考えると人権のことを考えること文化芸術はとても近い所にあるのだと思っ。

## 現在の人権啓

本センター顧問 橋本敏春

日本の人権運動の始まりは、江戸末期の浅草弾左衛門によつてである。また近代は「人の世に熱あれ、人間に光あれ」の水平社が大正11年に西光万吉(27歳等)によりつくられた。しかし、その後85年たった今でも形を変え、インターネット等で陰湿な差別が行われている。わたしも西光と同じ年頃からこの運動に関わり、国の法律づくりに携わってきた。人間が人間を見下し、欺き、陥れる、このパターンを数え切れない位味わってきた。しかし私は、それらに絶対に負けなかった。それは正義と真実を信じていたからだ。そもそも差別は心から生まれる。ゆえに一人ひとりがこれを克服しない限り、社会がどうあれなくなることはない。よつて心の根深さから起こる侵害には、正面からあたる以外に邪まな心を弱め伏せる方法はない。だから勇氣ある啓発は、今こそ大切なのだ。

## 編集後記

(啓発のひかり)

山の緑が濃くなり、青空に天高く雲が昇っています。「ぬくもり」を再編しました。(こ意見下さい)

「啓発の光」こそ、我々の熱望であるべきだ、その光が終始、民衆の声でなされれば必ず命の啓発となる(デンマークの教育学者グルントウイ)

設立17周年の本センターは、市民のものです。多くの皆さんのぬくもりの心が広がった時、より信頼のきずなが築かれるでしょう。

本センターは、人権の啓で  
あり続けます。  
(編者 川手晴猛)

## 平成20～21年度 本センター推進員 を紹介しします

山口 征雄	[平牧]
齋 清喜	[平牧]
斎藤美智子	[平牧]
渡辺 町子	[下恵土]
渡邊 礼子	[下恵土]
内野登代子	[帷子]
天野 弘子	[土田]
和田 昭治	[姫治]
高橋 康平	[兼山]